

技術資料

ThreeBond 6553

スリーラスター 錆転換剤

1. 概要

ThreeBond 6553 は、鉄に発生する錆(赤錆)が対象の錆転換型下地処理剤で、錆と反応して化学的に安定な黒錆を形成します。錆が発生している部分へスリーラスター(ThreeBond 6153 シリーズ)をはじめとする車体防錆剤や塗料を施工する場合の下地処理剤としてご使用いただけます。

以下、ThreeBond を TB と略す。

2. 特長

錆だけに反応して、化学的に安定した黒錆を形成し、防錆や塗装などの施工に適した下地を形成します。

3. 用途

- ・錆が発生している鉄鋼及び鋳鋼類の錆処理
- ・スリーラスター (TB 6153 シリーズ) 等の車体防錆剤や塗料を施工する場合の下地処理

4. 性状

表-1 TB6553 の性状

試験項目	単位	特性値	試験方法	備考
外観	—	乳白色	3TS-201-01	—
比重	—	1.03	3TS-213-01	浮きばかり
pH	—	2.7	3TS-531-01	—

5. 特性

5.1 試験結果

表-2 TB6553 の特性

試験項目	単位	特性値	試験方法	備考
反応性試験	分	30	別途記載	10℃, 40RH%
		20		30℃, 40RH%
		10		50℃, 40RH%

5.2 試験方法

- ①3TS-605-01 に準じた試験片を、下記条件により塩水噴霧試験機へ一定時間放置する。
 - ・ テストピース：SPCC-SB, 70×150×0.8(mm)
 - ・ 放置時間：48 時間
- ②錆が発生した試験片を取り出し、表面に浮き上がった錆をワイヤーブラシ等で落とし、ウエスで表面を拭き取る。
- ③TB6553 を刷毛で塗布する。
- ④10 分毎に錆びた表面状態の変化を観察する。
- ⑤錆びた表面全体が黒色に変化するまでの時間を確認する。

6. 使用方法

- ①TB6553 をよく振ってから必要な分だけハンドスプレー等の別容器に移します。
- ②塗布前に表面に浮き上がっている錆をワイヤーブラシ等で除去します。また油分や汚れ等が付着している場合は、十分に洗浄してください。
- ③エアブロー等による乾燥後、ハンドスプレーまたは刷毛等で、液だまり、液ダレのないように均一に塗布します。液ダレが出た場合は、ウエス等で軽く拭き取ってください。
- ④30～60 分放置後、塗布した面が黒くなった状態を確認のうえ、スリーラスター等の防錆剤、塗料を塗布してください。

7. 使用上の注意

- ①用途以外には使用しないでください。
- ②吸入・飲用不可 人体に害がありますので、吸入したり飲まないでください。
- ③使用する際は、保護具(手袋, マスク, 眼鏡等)をお使いください。
- ④皮膚の弱い方や長時間使用する場合、かぶれる恐れがありますので、保護手袋を着用してください。
- ⑤眼に入らないよう十分に注意してください。
- ⑥吸入すると害があるので、通気のよい所で使用してください。
- ⑦子供の手の届く所に置かないでください。
- ⑧万一飲み込んだ場合は無理に吐かせずに、すぐに口の中を洗い、医師の診察を受けてください。
- ⑨誤って皮膚に付着した場合は、水またはせっけん水でよく洗い流してください。
- ⑩誤って眼に入った場合は清水で15分以上洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。
- ⑪誤って吸入した場合は、直ちに使用を中止し、通気のよい所で安静にしてください。気分が回復しない場合は医師の診察を受けてください。呼吸器疾患の方は、十分注意して使用してください。
- ⑫誤って衣服にかかった場合、シミになる恐れがありますので、すみやかに洗浄してください。
- ⑬一度容器より出した液は、元の容器に戻さないでください。
- ⑭使用したハンドスプレーや刷毛等は、すみやかに水で洗浄してください。
- ⑮酸性物質ですので、アルカリ性物質との接触、混合はさけてください。
- ⑯本表示に記載されていない危険有害性につきましては製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

8. 保管方法

- ①保管の際は、必ず密栓してください。
- ②凍結の恐れのあるところ、直射日光の当たるところ、40℃以上になるところや水・湿気の多い場所に置かないでください。

9. 廃棄方法

廃棄の際は、中身を使い切ってから産業廃棄物として処理してください。

10. 法規制

消防法 非危険物

11. 注意

工業用

(家庭用には使用しないでください)

本商品は一般工業用途向けに開発されたものです。商品のご使用に際しては、以下の点をご承諾ください。

- 本書に記載している技術データは、当社規定の試験方法による実測値の一例であり、保証値ではありません。また、本書で紹介している用途は、いかなる知的財産権にも抵触しないことを保証するものではありません。
- ご使用に際しては、当該用途に使用することの妥当性・安全性について必ず事前確認いただき、それに伴う全ての責任と危険をご負担ください。
なお、体内への埋込・注入又は残留する恐れのある医療用インプラント用途には絶対に使用しないでください。
- 商品の誤った取扱いによる傷害及び損害については、当社では責任を負いかねます。
ご使用になる商品の性質・使用方法が不明な場合は、絶対に使用しないでください。
- 商品の安全情報詳細については、製品安全データシート(MSDS)をご確認ください。
MSDSの入手方法につきましては、当社営業所又はお客様相談室にお問い合わせください。
- 本書の記載内容は、当社独自の判断で変更する場合があります。